

社会福祉法人 福田会 週次報告書

2023年11月28日 / Vol. 058



ご支援総額

2023年11月22日までの寄付総額

128,723,010 円

寄付金使用総額

3469229.48 zł (約1億408万円)

11/13(月)～11/26(日)の期間中の寄附金使用額

24064.39 zł (約72万2千円)

11月13日(月)～11月26日(日)の支援活動

食材支援 (毎週金曜日) ※祝日等で変動あり

一人あたり50złの予算を設け、1週間分の昼食用食材の購入を支援。

11月16日(木) 20家族が参加 合計 2657.18 zł (約11万円)

11月24日(金) 23家族が参加 合計 2933.63 zł (約10万2千円)



シェルターへ支援物資の寄付

先日空調設備を寄付したDuchackaシェルターを訪問し、段ボール6箱分の食料を寄付。

同シェルターには現在約40名が滞在しており、その半数が小さな子どものため、赤ちゃん用フード・子ども用飲料などを寄付した。

施設を運営する団体によると、食料は常に不足しており、福田会ポーランド支部スタッフが同施設を訪問した際も、ゴミ袋に詰められたパンが置いてあり、人々はそこからパンを取り出して食べているような状況であった。



現地の動向

ポーランドのドライバーの道路封鎖により、3000台の車両が国境に立往生

ウクライナ当局によると、11月19日、ポーランドのトラック運転手による10日以上以上の道路封鎖により、燃料や人道支援物資を積んだトラックを含む約3000台のウクライナ製トラックがポーランド側の国境で立往生した。

ポーランドのトラック運転手たちは、11月初め、2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻以来、外国の競合他社に仕事を奪われていることに対する政府の無為無策^{*1}に抗議するため、ウクライナとの3つの国境交差点への道路を封鎖した。

当局によれば、キエフとワルシャワは抗議行動を止めるための合意に至らず、国境の閉鎖は現時点でも改善されていない。(11月23日時点)

ウクライナのオレクサンドル・クブラコフ副首相は、「10日以上にわたって、ウクライナのドライバーはポーランド国境を封鎖されている。何千人もの人々が、限られた食料、水、燃料しかない困難な状況での生活を強いられている。」と述べた。

輸出統計を定期的に調査しているスパイク・ブローカー社（ウクライナのブローカー）によると、ポーランドとの国境にある税関検問所を通過する車両の貨物量は、1ヶ月前のピーク時の1日あたり7,500トンに比べ、4,000トンに減少したという。

ポーランドは11月に入り都市部で積雪を観測するなど、本格的な冬に突入した。越冬のため、ウクライナからポーランドに避難して来るウクライナ避難民の数も増える事が予想される。
ポーランド国内の各支援所・支援活動においても、国境閉鎖による物流停滞の影響が無いとは言い切れない。

^{*1} これまでウクライナのトラックは特別許可がなければポーランドに入国できなかったが、2022年2月24日以降、この条件は廃止された。



(Photo by Yan Dobronosov/Global Images Ukraine via Getty Images) (GETTY, Global Images Ukraine)